

# カノコソウを作ってみませんか？

## ～試作栽培・生産者募集～

2023年8月2日開催「重点品目説明会」でカノコソウを取り上げます  
説明会へのご参加、試作栽培生産者募集へのご応募をお待ちしております

カノコソウはオミナエシ科の一年草で、冷涼な地での栽培が適しています。根と根茎は生薬吉草根（キツウコン）として用いられ、鎮静作用や睡眠の改善作用のほか、身体をリラックスさせる効果があるといわれています。現在、国内での使用量は年間約20トンで、その約半分が国内産です。日漢協ではこのカノコソウを重点品目の一つとして選定し、生産希望者を募りつつ漢方薬メーカーとのマッチングを進めていきます。

カノコソウがどんな作物か、試しに作ってみたいという方に、少量の苗を無償提供します（送料は応募者でご負担いただきます）。



### カノコソウ基本データ：

生薬名「吉草根」（キツウコン）

2020年度使用量 18,732 kg （うち47%にあたる8,904 kgが国内産）※2022年日漢協調べ

2021年度国内調達量 14,861kg（国内で18番目に調達が多い生薬）※2022年日漢協調べ

主な栽培地 北海道・岩手県・奈良県など ※2021年日本特産農産物協会調べ

募集締め切り：2023年8月31日

応募者への通知：2023年9月下旬（予定）（配布の可否、可の場合は配布数量を通知）

苗の送付：2023年10月以降

締め切り後に事務局で申し込み情報をもとに審査のうえ、配布の可否ならびに配布数量を決定します。（ご希望に添えない場合もございます）

配布数量：配布数量は原則として1株から10株（苗換算で5本から100本相当）とします。

送付状態：苗の傷みを防止するため、分解前の株で送付いたします。

各自で、1株当たり5から10本の苗に分割し、定植してください。

**応募条件：**

- ① 生薬生産をお考えの方
- ② 2023年11月までに定植できる方
- ③ 苗の送料を負担もしくは生産地（長野県安曇野市）まで取りに来られる方
- ④ インターネットが利用でき、YouTubeで動画視聴が可能な方  
（当協議会において対応可能な範囲に限りがあり、個別指導はいたしかねますので予めご了承ください。栽培方法については、ホームページに掲載する資料・YouTubeで公開する動画をご参照ください）
- ⑤ 2023年11月（定植後）、2024年5月、8月、11月（収穫後）の4回、所定の報告フォームにご記入のうえ、メールでご報告いただける方
- ⑥ カノコソウの栽培に適している、冷涼な地域（※）で栽培される方を優先いたします  
※1月の平均気温が6℃未満、かつ、「暖かさの指数」が45～120の地域（出典『薬用植物 栽培と品質評価 Part 4 ウコン、カノコソウ、サフラン、ホソバオケラ、ムラサキ』厚生省薬務局監修／薬事日報社／1995年）

**参考：**

苗の配布にあたっては以下の書類をご提出いただきます。

- ・受領および同意書（苗の配布時）
- ・報告フォーム（所定の期日）

**栽培関連資料：**

- ・「カノコソウの定植（イメージと実際）」（PDF）
- ・「薬用作物 栽培の手引き」（全国農業改良普及支援協会）  
[https://www.jadea.org/houkokusho/yakuyou/yakuyosakumotusaibai\\_tebiki.htm](https://www.jadea.org/houkokusho/yakuyou/yakuyosakumotusaibai_tebiki.htm)  
（2）にカノコソウ栽培について記載があります。

ご応募はホームページで受け付けております。

<https://www.yakusankyo-n.org/try.htm>

薬用作物産地支援協議会ホームページ内「作ってみませんか」

（参考資料、栽培関連資料についても上記ホームページをご参照ください）

**お問い合わせ先：**

薬用作物産地支援協議会（日本漢方生薬製剤協会 事務局内）

TEL：03-6264-8087

E-mail：soudan@yakusankyo-n.org

以上